

■その他

- ・尾骨の損傷：損傷後に慢性的に焼けるような感覚があり、触ると悪化します。
- ・踵の捻挫：歩くときに踵が内側に曲がりやすい傾向があります。
- ・白内障
- ・湿疹：とくに顔面の湿疹、赤銅色の病変をしています。
- ・酒皸（赤鼻）

MODALITY

- ▶ 患部に手を当てること、おくび、目をこすること、暖かい部屋など
- ◀ 寒さ、わずかな体液の喪失（出血、授乳、発汗、月経など）、風邪、捻挫、食事中、乾燥した冷たい空気、ひげ剃り、月経後、月経中、右下に寝る

こと、真夜中すぎ、脂分の多い食事、牛乳、わずかに触れることなど

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Arsenicum album, Camphora, Nux vomica, 酢
 - ・ Antidote to : キニーネ
 - ・ Complementary : Calcareo phosphorica
- ◀Carbo animalisとLac defloratumの共通点

●死を考える、頭を動かすとめまいがする、めまいがしたときに右寄りに倒れる傾向がある、人混みが嫌い、狭い所が嫌い、窒息感、孤独感、朝起きるときや月経時に前頭部の頭痛、頭頂部の頭痛、月経中に目の鈍重感、悪阻や乳汁分泌不全、踵の弱さ、などがあります。

Carbo vegetabilis 木炭 [低酸素, 呼吸不全, 疲労]

Activated charcoal

BACK GROUND

Carbo vegetabilisは、白樺や柳、ポプラといった樹脂の少ない木を炭化させたもの（木炭）を使います。

木炭とは木材の木質（セルロース・ヘミセルロース・リグニン）を炭化し、熱分解されたもので、3分の1が炭になり、3分の1が煙（集煙し冷却すると木酢液になります）、残り3分の1がCO、CO₂などのガスとして放出されます。



木炭は、孔質と呼ばれる構造を備えています。わずか1gの木炭の内部表面積は、実に約300～400m²にも及びます。この独自の構造ゆえに、炭は有害物質や

臭気、湿気などに対する優れた吸着・分解作用を発揮し、汚染した水や空気をクリーンに浄化します。また医薬品としても、吸着剤として中毒や腎不全、鼓腸などに使用されています。

木炭の性質としては、電気陰性度が大きい、電気をよく導く、熱をよく伝える、空気、水を浄化、変質しないなどの特徴があります。無機成分がバランスよく含まれている炭は、土壌の地力向上に有益な微生物の増殖を促し、植物や農作物の病害虫への抵抗力を増大させます。さらに、ダイオキシンや農薬などの汚染物質を分解・除去するなど、さまざまな効能を備えています。

FIRST PROVING

ハーネマンは、白樺の木炭でCarbo vegetabilisのプルービングを、毒性というよりも薬理作用の確認という形で行いました（『Materia Medica Pura』第6巻）。Carbo vegetabilisは、消化器系、循環器系、血液凝固系等に親和性があつたほか、特記すべきことに低酸素症に対する効果が強いことがわかりました。

MIND

Carbo vegetabilis タイプは、冷え性です。体中冷えている（とくに膝）のに、体内が熱い（とくに胸）と不平を言います。額と顔に汗をかきます。冷え性なのに、扇風機やエアコンやうちわで風を送るのが大好きです。できるだけ多くの酸素を欲しがるため、深呼吸が好きです。

体型は、太っていることが多く、怠惰でいつも不平を言っています。以前の病気の影響から、十分回復していないことがあります。体調が悪いと、炭が燃え尽きていくように、自分の周りのすべてのことに対して無関心になってしまいます。この辺は、イカ墨のレメディである Sepia に似ています。

しかしながら、このタイプは、非常に健康なときには、長い時間燃えている炭のように、長い時間に及ぶ労働もこなせるほどのバイタリティーとエネルギーがあります。その働きぶりはまるで Nux vomica のようです。そのためこのタイプは、調子の良いときには仕事面で成功できる素質をもっています。ただし、もともと社交的とは言えず、見知らぬ人の前ではリラックスできません。

子供の場合も、病気になると、気だるそうで、学習が遅く、怖くて夜1人で寝ることや暗い所にいることができません。食べ物では、牛乳や肉、脂っこいものは嫌います。消化のよいものも嫌う傾向があります。塩辛いものや甘いもの、コーヒーを好みます。

Carbo vegetabilis の病的タイプには、大きく分けて2つのタイプがあります。

1) 酸素不足：とにかく新鮮な空気が必要です。扇風機やエアコンを好みます。過去に大病して衰弱している高齢者によく反応します。

2) 弱い消化器系：頻回のおくびや放屁、消化不良が特徴です。消化不良には飲酒癖が関係していることも多くみられます。

AFFINITY

主に粘膜（とくに消化器系）、心臓、静脈循環、血液などに親和性があり、細胞組織の酸素と深く関連があります。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、とくに低酸素の状態によく使用されます。

■疲労

- ・大病による衰弱：生命力が感じられず、体は冷え切って、息も冷たく、脈は微弱になっています。頭部は熱く感じるので、団扇で扇いでもらうのを好みます。



- ・活力がなく、皮膚も冷たく青白いのですが、体の中は暑がります。
- ・昔の大病からの回復が不十分なとき
- ・外科手術後：体は冷たく、顔は青ざめて、冷や汗が出ます。
- ・糖尿病性昏睡
- 消化不良、鼓腸
- ・ひどい鼓腸
- ・頻回のおくび：おくびを出すことによって、胃も全身状態も改善します。おくびを出すために、炭酸飲料を好んで飲むことがあります。
- ・頻回の放屁：とくに夜や横になると悪化します。甘い物や塩辛い食物を欲しがります（放屁には低ポテンシーを使用します）。
- ・胸やけ
- ・アルコール飲料による顔面の紅潮

■呼吸困難

- ・呼吸困難：あらゆるタイプの酸素不足に。苦しくてベッドから起き上がらなければなりません。おくびで改善することがあります。進行した肺炎や百日咳、喘息、肺気腫などによる呼吸困難
- ・帝王切開時の新生児の呼吸促進
- ・毎日鼻血がでることがあります。：青白い顔をしています。
- ・喘息発作：とくに高齢者に有用です。
- ・血中酸素濃度の低下：各種疾患によります。
- ・過度の喫煙：禁煙の補助療法として使用されることがあります。

■血管系

- ・うっ血性心不全（とくに右心）で呼吸困難を伴う場合：チアノーゼが、扇風機やエアコン、おくびを出すことで改善します。
- ・急性/慢性心不全：補助的に使用します。
- ・動脈硬化症から起こる壊疽：主に足先に起こります。潰瘍化した段階で使用します。
- ・静脈瘤
- ・静脈瘤性ハイポデルマ症

- ・無力性潰瘍：広く壊死性病変が広がっており，血液様漿液や血液様膿を伴います。

MODALITY

- 肢を上げること，新鮮な空気，風通しのよい場所，おくびなど
- 横になること，睡眠前，運動，夜，牛乳・コーヒー・ワイン・脂っこい食物，暖かい場所，外を歩くこと，寒い夜の空気，暖かい湿った気候，歌う

こと，夏，強い日差しなど

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Arsenicum album, Ambra grisea, Camphora, Coffea, Lachesis, Nitri spiritus dulcis, Ferrum phosphoricum
- ・ It antidotes : China, Lachesis, Mercurius
- ・ Complementary : China, Drosera, Kali carbonicum

Carbolicum acidum フェノール C_6H_5OH [熱のある分泌物と短時間の痛み]

Phenol- C_6H_5OH

BACK GROUND

Carbolicum acidumは，ベンゼンの水素が水酸基に置き換わった分子量94.11の有機化合物フェノールです。純粋なフェノールは，無色または白色の結晶性の塊で，特有の臭いがあります。別名，石炭酸とも呼ばれています。

フェノールは，融点40.95℃，引火点79.4℃で，エタノールに溶けやすく，水にやや溶けやすく，フェノール固体は湿気を吸収して，潮解する性質をもっています。空気中ではすぐに赤紅色に変色します。

フェノールは，医療用として消毒殺菌剤，歯科用局所麻酔剤として用いられていたほか，農薬，火薬，染料，試薬などの原料として用いられてきましたが，今日では，合成樹脂（フェノール樹脂ベークライト，PPO樹脂），合成繊維（ナイロン），可塑剤，安定剤，界面活性剤などの原料として重要です。

以前，消毒剤として多用されていた頃の患者と医師の双方の副作用のデータが，今になってレメディ像に役立っています。

フェノールは，腐食性があるために有毒です。粘膜についた場合には，炎症を起こします。薄めた溶液は，弱い酸性を示し，甘みがあります。

フェノールには，次のような毒性があります。

- ・ 一般状態：疲労倦怠感，衰弱
- ・ 消化器系：消化管粘膜の激しい炎症（胃腸炎），腹痛，嘔吐，下痢
- ・ 泌尿器系：尿管間質性腎炎，蛋白尿
- ・ 呼吸器系：気道粘膜の炎症と潰瘍，浮腫，急性肺水腫

- ・ 神経系：高用量摂取の場合には，ふるえや痙攣を伴う中枢神経系の興奮が認められます。
- ・ 皮膚に触れた場合，紅斑，接触部位の痛み，水疱性病変といった化学火傷を起こすと同時に，皮膚からも吸収されて，吸入時と同様の症状を引き起こします。かなり高用量の接触の場合には，皮膚が壊死します。

MATERIAL

水溶液

FIRST PROVING

Berridge

AFFINITY

Carbolicum acidumは，粘膜（呼吸器系，消化器系），心臓，血液に作用します。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床では，悪阻のときや各種粘膜の炎症，重症な状態などに使用します。このレメディの粘膜の炎症の特徴は，突然始まる鋭い痛みが短時間あることと，分泌物に悪臭があることです。ケントは，このレメディを蜂のアナフィラキシーショックの治療に用いていました。

■呼吸器系

- ・ 慢性鼻炎：悪臭のある分泌物が出たり，鼻腔につまっています。
- ・ 臭鼻症